

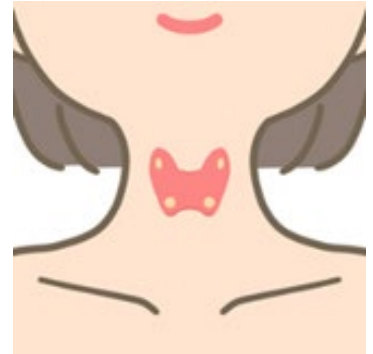
甲状腺の機能について

臨床検査技師 古館 未悠

<甲状腺は体の中でどんな働きをしているの？>

甲状腺はのどぼとけの下にあり、蝶が羽を広げたような形をしています。大きさは4~5センチ、重さは15~20グラム程の小さな臓器です。甲状腺はFreeT3（トリヨードサイロニン）・FreeT4（サイロキシン）という二種類の甲状腺ホルモンを分泌しています。甲状腺を刺激して、甲状腺ホルモンの量を調節するホルモンをTSH（甲状腺刺激ホルモン）といいます。

甲状腺ホルモンは体の新陳代謝を促し、脈拍数や体温、自律神経の働きを調節することでエネルギーの消費を一定に保っています。



<当院の基準値は？>

FreeT3 …1.88~3.18pg/ml

FreeT4 …0.70~1.48ng/ml

TSH …0.35~4.94μIU/ml

<甲状腺の機能が低下するとどんな症状が出る？>

甲状腺機能低下症とは、甲状腺の働きが悪くなることで甲状腺ホルモンの分泌量が少なくなってしまう状態のことです。

症状として倦怠感、発汗の低下、食欲不振、むくみ、寒がり、体重の増加、抑うつ気分、無気力感などがみられます。

FreeT3… ↓
FreeT4… ↓
TSH … ↑



<甲状腺の機能が亢進するとどんな症状が出る？>

甲状腺機能亢進症とは、甲状腺が活発に活動することで甲状腺ホルモンが過剰に分泌される状態のことです。

症状として心拍数の増加、大量発汗、身体のほてり、手の振戦（ふるえ）などが挙げられます。さらに、食欲が亢進するにもかかわらず体重が減少したり、疲労や脱力を感じるにもかかわらず活動レベルが高まったりするなどの特徴もあります。

FreeT3… ↑
FreeT4… ↑
TSH … ↓



甲状腺ホルモンは当院の血液検査で調べることができます。症状が当てはまり、気になる場合は医師に相談してみましょう。